中心市街地活性化プロジェクト

コマナカ meet2023　活動報告

中心市街地グランドデザインの計画の推進体制に基づき、令和4年度に市民等がつながる場である「中心市街地まちづくりプラットフォーム」を構築し、この中での対面でのつながる場として開催したワークショップにて、市民等の参加者からまちづくりのアイデアを提案いただきました。

令和5年度は、こまき市民活動ネットワークに支援業務を委託し、ワークショップで提案されたアイデアをもとに、まずはできる範囲でやってみるという方針でスモールスタートし、「ストリートファニチャー」、「地産地消茶屋」及び「こまき街なか大運動会」の3つのプロジェクトを社会実験として実施しました。

なお、これらプラットフォームでつながった市民等が自ら企画して実践するまちづくりのプロジェクトを「コマナカ　meet」と名付け、プロジェクトに参加していただいた市民等を「プレーヤー」と呼んでいます。

Project 1　　ストリートファニチャー

(1)　概要

- プレーヤー自らがデザイン･制作したテーブルやベンチなどを中心市街地の公共空間に設置し、**居心地の良い滞在空間を創出することを目的**とした取組
- プレーヤー数：14名
- 監修：丹羽明人アトリエ

(2)　実践の様子

ミーティングを5回行いデザインなど議論し、2回制作会を行い完成しました。

また、完成したファニチャーについて、イベント等での設置前に駅西公園にお試しで設置しました。

▲ミーティング

▲制作作業

▲完成！

(3)　効果検証結果

10/22 開催の青空カフェや 11/11 開催のこまき街なか大運動会といったイベント時や、平時においても駅西公園やラピオ2階のフリースペースに設置しました。

青空カフェでの来場者アンケート結果から、**滞在時間の向上や場の雰囲気づくりとしての効果**が確認され、また、平時においても**休憩や食事をする場所として活用**されている状況を確認しました。

Project 2　　地産地消茶屋

(1)　概要

- 地産地消サンドイッチの企画･販売を通じて**中心市街地を知るきっかけをつくることを目的**とした取組
- プレーヤー数：10名
- 監修：Sandwich96&96CAFE

(2)　実践の様子

ミーティングを6回行い使用する具材や包装などを議論し、3回試食･試作会を行いました。

▲ミーティング

▲試食・試作会

▲完成品！

(3) 効果検証結果

10/22 開催の青空カフェにおいて販売し、その後協力店舗の店頭においても期間限定で販売しました。

青空カフェでの来場者アンケートの結果から、この**取組に対する認知度の拡大**という一定の効果が得られ、また、協力店舗の店頭や SNS 等により、20～40 代の**子育て世代を中心とした幅広い層への情報発信**を行うことができました。

Project３　こまき街なか大運動会

(1) 概要

- 運動会という誰もが馴染みのあるイベントを街なかの駅前で実施することにより、**まちづくりに関わる方々の増加を図ることを目的**とした取組
- プレーヤー数： 9名
- 協力企業等： ㈱エースベーカリー、㈱カインズ、クローバーキャンピングカーレンタル小牧店、㈱コロナワールド、シオン㈱、㈱Japan Style Array Coikiya、㈱STUDIO24、住友理工㈱、㈱ナカシロ、ナゴヤ芯材工業㈱、松永製菓㈱、市民団体「おりづる」、しきの会、将棋連盟、Legame

(2) 実践の様子

ミーティングを9回行い競技内容や運営方法、チラシのデザインなどを議論し、リハーサルを1回行いました。

▲ミーティング

▲リハーサル

▲チラシ

(3) 効果検証結果

11/11 に市道小牧駅西線及びにぎわい広場を会場として開催し、900 人以上の方に参加いただきました。

当日のアンケート結果から、この取組の今後の参加意思などが確認でき、また、開催にあたって多くの企業等に協力いただき、**中心市街地活性化に係る関係人口の増加**という効果が得られました。さらには、道路封鎖を伴う開催により、**駅前の公共空間に一体感を与え、道路空間に新しい利活用の可能性を提示**することができました。

総評及び今後に向けて

(1) 評価視点①：市民等のまちづくりへの参画や担い手育成

社会人、学生、主婦、経営者など様々な職種や年代のプレーヤーに参加いただくとともに、計3回のワークショップの開催などにより潜在プレーヤーの獲得にも努めることができました。

そして、「実践」のまちづくりを通じて企画を具現化できたことで、令和6年度はより多くの市民等の参加が期待できると考えています。

(2) 評価視点②：民間活力を活かしたまちづくりの推進

各プロジェクトの実施において、技術面や物資面など不足する部分について民間企業や団体等の協力を得ることができ、限られた予算の中で高いクオリティで実施することができました。

令和6年度も引き続きこまき市民活動ネットワークが有するつながりを活用し、民間活力を活用しながら取組を進めていきます。

(3) 評価視点③：情報発信体制の強化

WEB 媒体を活用した情報発信を強化するとともに、プレーヤーや協力企業による2次発信により、幅広く情報発信することができました。

また、専用 WEB サイトを開設するなど、今後さらなる情報発信体制の強化を図っていきます。